



株式会社 ユニフルーティー ジャパン

Unifrutti Japan Corporation

Statement

ハートフルーティー

「おいしい」を、「うれしい」に。

安心・安全でおいしいフルーツを、

大切な人に食べさせたい。

あなたと同じ想いを胸に、ユニフルーティーは、

栽培から輸送、加工、流通までを自社で一貫して管理しています。

土づくりから始まり、一本一本に愛情を注ぐ。

おいしさに込められた温かいハートは、

きっとみんなを幸せにするはず。

「ハートフルーティー」を合言葉に。

私たちは、「おいしい」の先にある「うれしい」を、

生み出し続けていきます。



<https://www.unifrutti.co.jp/about/>

SDGs

より持続可能なバナナ農園へ。
歩み続けて四半世紀。そして、これからも。

ユニフルーティーグループのバナナは、
フィリピンで栽培されています。

食べる人を笑顔にするバナナを。

笑顔で働けるバナナ農園を。

働く人とその家族も、笑顔で暮らせる環境を。

持続可能な企業活動は、食べる人とつくる人の
笑顔の先に実現するものだ信じて。

私たちはこれからも、

産地の課題と向き合っていきます。



詳しくは ra.org/ja



<https://www.unifrutti.co.jp/about/csr/>



農園ごとに異なる個性。

フィリピン南部のミンダナオ島にバナナの自社農園を所有しています。
生育環境の異なる農園それぞれに応じて最適な栽培に取り組み、
バナナのおいしさを最大限に引き出す努力を続けています。



海の上もフルーツづくりの現場。

フルーツをより良い状態で届けるためには、輸送工程の管理も重要です。
ユニフルーティーはバナナ輸送の専用船を保有しており、
海の上でも最適に管理された状態で日本にバナナを届けています。



食卓にお届けするまで。

愛情を込めて育てたフルーツだからこそ、より良い状態で食卓に
届けたい。ユニフルーティーは自然環境に配慮しながら、生産、
輸送、加工、流通まで、すべての工程を一貫して管理しています。

Philosophy



持続可能な農業への取り組み。

それぞれの農園では、農園周辺の野生生物の保護や、土壌や
水源の保全、スタッフが働きやすい環境整備などを行っており、
より良い未来と持続可能なフルーツ生産のための環境づくりを進め
ています。



「おいしさ」を引き出す日本での工程。

東京、神戸に拠点をもち、輸入されたフルーツの管理をしています。
バナナにおいては、自社の加工スタッフが各農園の個性や状態に
あわせて「おいしさ」を引き出す追熟加工を行っています。



<https://www.unifrutti.co.jp/about/philosophy/>



Global Network

ユニフルーティー・グループは、

約300種類のフルーツを世界50か国に年間70万トン以上輸出し、

生鮮食品業界で最も大きなグループの1つと見なされています。

主要な出資をしているチリ、フィリピン、南アフリカだけでも、

ユニフルーティー・グループの総作付面積は14,000ヘクタールを超えています。

さらに国際的パートナーを含んで、

生産、貿易、輸送といった様々な事業拠点を世界で運営しているのです。



<https://www.unifrutti.co.jp/company/global/>